

三鷹第二小学校

# 学校通信

385

2003.12.1

校長 中村 勉

ホームページ <http://www.education.ne.jp/mitaka/nisho-es/index.htm>

## 新たな一歩

校長 中村 勉

### さわやかな110周年記念集会

代表委員会主催の記念集会が11月26日に行われました。吉野惣一郎同窓会長さんをはじめ100周年以降のPTA会長さん、副会長さん、青少年対策委員会の会長さん、副会長さん、交通安全対策委員会の会長さん、副会長さん等ご来賓の方がご出席くださいました。また、保護者の方も50名ほどご参観くださいました。

代表委員の司会進行のもと校長の祝いの言葉に続き、児童・教師全員で第二小学校の誕生日をお祝いする歌『だれにだっておたんじょうび』を謳いあげました。一言発表する子ども達は、緊張しながらも堂々と明瞭にいうことができました。

そして6年生のお琴による『さくらさくら』の演奏。校樹「さくら」が今後も元気に私達を見守ってくれることを願いつつ、気持ちを込めて弾いていました。続いて、心のふるさととしての二小をおもい『ふるさと』の合唱奏。澄んだ音、声が体育館中に広がりました。

この二小を、子ども達はみんな大好きなのです。この学校でこれからもしっかり学んでいきたいと思いますという決意の現われでもあると感じました。

吉野同窓会会長さんからの記念誌の中の言葉を引用されたお祝いのお言葉にも、身が引き締まりました。

最後は参加者全員で校歌を高らかに歌いました。

さわやかな中に適度な緊張感と喜び、そして新たな第一歩のはじまりの決意を感じることができた記念集会でした。

この110周年記念のお祝いとして、市教育委員会より記念誌「さくら」と校歌の16小節入りのオルゴールを子ども達全員がいただきました。同窓会からは、音楽の学習に、学年集会や学級集会に活用してくださいとアップライトのピアノをいただきました。PTAからは寒い中での体育館集会用としてストーブを2台いただきました。ありがたいことです。皆様のお気持ちに応えるべく、なお一層子ども達のために知恵と汗と力を出し、全職員取組んでまいります。

### 二学期を振り返る

朝読書で始まる学校生活。この静寂の時間は、次の学習活動に大きな影響を与えています。朝の出発がとてもさわやかになりました。頭もすっきり、「よし、今日も1日しっかり学ぶぞ」という気持ちになります。土・日・月・水曜日はご家庭で10分間「家族そろって好きな本をただ黙って読むだけ」を継続していただくと嬉しいです。

落ち着いた雰囲気の中で授業が展開しています。学校行事があった2学期でしたが、何時教室にいてもどの学級も日々の学習に真剣に取り組んでいる姿をみることができ

ました。私が教室に入っていることなどまったく気づくことなく学習活動に没頭しています。この取組みの姿勢が学校行事の中で一人一人の子ども達の姿として現われていました。嬉しいことです。1時間1時間の授業を大切に、「学ぶ喜びを実感できる授業づくり」を学校の共通テーマとして取組んでいる教職員にとって子ども達のこの姿は、大きな励ましになりました。

### 日本の生活文化を伝える

12月、1月は日本の伝統的な行事や催しが、家庭で、地域で行われます。子ども達が、実際に体験して学ぶ、見て学ぶ機会が多くあります。直接体験を通して人は大きく成長します。

真似てみる、やってみる、よりよくやってみる等が体を通して身についたとき、大きな力になります。

挨拶ひとつをとっても、日々省略している正座で挨拶、相手の目を見て挨拶、挨拶を通しての言葉のやりとり等、体験させる価値あることがたくさんあります。学校ではできない生活体験が家庭の中に、地域の中にたくさんあります。窓拭き、すすはらい、部屋の整理整頓等大掃除の中にも様々な知恵が必要です。正月を迎えるための料理づくり、食器の整理、本当に学ぶこと、伝えることがたくさんあります。ぜひ子ども達に大人の技を伝授してください。

平成15年、この1年間の皆様の第二小学校に対する、ご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。「ありがとうございました」

皆様お元気で新しい年をお迎えください。

## 12月の予定

### (B時間割)

- 1日(月)委員会
- 2日(火)個人面談、社会科見学(5)
- 3日(水)個人面談
- 4日(木)個人面談
- 5日(金)個人面談
- 6日(土)卒業を祝う餅つき大会(6年有志)

### (A時間割)

- 8日(月)クラブ
- 9日(火)小学校体育研究会発表  
(水曜時程4時間、授業クラス5時間)
- 10日(水)児童集会、普通時程4時間

### (B時間割)

- 15日(月)社会科見学(6)
- 19日(金)音楽朝会 クラブ

### (特別時間割)

- 22日(月)午前授業開始
- 23日(火)天皇誕生日
- 24日(水)給食終了
- 25日(木)終業式 大掃除
- 1月8日(木)始業式 大掃除

### サポートスタッフだより

4年生は、「わり算の筆算を考えよう」という算数の学習で、延べ80名を越える保護者の皆様に、学習のサポートをしていただきました。10月30日から11月13日までの9日間という長い期間でした。主に、習熟をはかるプリント学習で、丸をつけていただきました。

子ども達にとって、問題がとけたらすぐにできたかどうか確かめられたので、意欲がとても高まりました。

指導する私達4人も、段階を追った指導ができました。

子ども達の行列ができて、サポートしてくださった皆様は大変だったことでしょう。協力していただきありがとうございました。

4年担任・少算担当



## 12月の生活目標

### 「思いやりや助け合いの心を持とう」

10月の最後の週目標は「話す相手に合わせた話し方をしよう」でした。自分の言いたいことばかりを主張するのではなく、受け取る相手の気持ちを考えるのは大人でも難しいことです。少しずつ少しずつ積み上げていきましょう。12月10日は、国連の定める人権デーです。これを機会におうちでも話し合ってみましょう。

6月の“やさしさこくばん”より

- ・ なやんでいる時、相談ののってくれて、ありがとう。(6年)
- ・ さがしものをした時に、いっしょにさがしてくれたよ。(5年)
- ・ ぼくがいない時にはげましてくれました。ありがとう。(4年)
- ・ 紙がやぶりすててあったのを、自分でひろって自分のポケットに入れながら帰って行きました。(6年)
- ・ 私がけがをしたときに、ずっとけがの事を心配してくれた。(6年)
- ・ 会うとおもしろい話やこわい話をしてくれる。ありがとう。(2年から3年へ)

12月の“やさしさこくばん”には、どんなメッセージがのるでしょうか？

生活指導 担当

## 学校探検

### 12月編

#### ～ 110周年記念集会 ～

先月26日に、二小110歳をお祝いする110周年記念集会がありました。短い時間ではありましたが、子どもたちをはじめ、地域・保護者・同窓会の皆様と一緒にお祝いできたことは、とても意義のあるものであったと感じました。ありがとうございました。

1年生から5年生による『だれにだってお誕生日』は、少し歌詞を変え、二小お祝いバージョンとして大合唱しました。その間奏では、二小の歴史を振り返ることができるセリフを各学年の代表児童に言ってもらい、簡単ではありますが、二小の歴史を垣間見ることができました。また、6年生による琴の合奏『さくらさくら』は、二小のさくらをイメージしました。音色がとても上品で、聞き入ってしまうほどでした。さらに『ふるさと』は、美しい2部合唱で、一人一人の心に響いたことでしょう。最後に全員で校歌を歌い、110周年記念集会は終わりました。

この集会を企画・運営したのは、代表委員会の子どもたちです。『だれにだってお誕生日』の歌詞や、セリフ、当日の司会・進行など、自分たちで運営することができました。毎日の学校生活のなかで培われた子どもたちの力を、このような行事で存分に発揮できたことは、大変嬉しいことです。子どもたちの成長を感じられずにはいられない一時でした。

代表委員会担当

## 二小の授業づくり その7

「3年生 国語科の授業から」 【広い言葉、せまい言葉】...自分が見つけた言葉の関係の説明をまとめや順序を考えて分かりやすく書く。

3年生の子ども達は、身のまわりの出来事や体験したことをよく話にきます。しかし、いざそれを文章にしようとすると、書き方が分からないなど、書く事に抵抗のある子は多くいます。

今回の授業では、自分が見つけた言葉をもとにクイズ形式で文章を書くという内容だったので、子ども達は、とても意欲的に取組んでいました。また、教科書の説明文を例文にして書くということで普段書きはじめに困る子もスムーズに取り掛かることができているように思います。このような積み重ねが書くことの楽しさにつながっていくと実感した授業でした。

「5年生 理科の授業から」 【てこのはたらき】...重いものを小さな力で持ち上げる

てことは、力の大きさを変える道具で、「支点・力点・作用点」の3つの点があります。これらの使いようで、小さな力を大きな力に変えて、重いものを持ち上げたり、また、その逆もできます。今回の授業は、10kgの砂袋を小さな力で案に持ち上げよう、ということにてこへの導入をはかりました。子どもたちは、グループごとにその案を持ち上げ方を考え、話し合い、試しました。色々な方法が編み出され、背中がかつぐグループ、頭で持ち上げるグループ、籠に入れて持ち上げるグループ、椅子に入れるグループ、御神輿のようにするグループ、ひもで引きずったり、持ち上げたりするグループ、棒を使うグループ、など、千差万別でした。その中で子どもたちは、意に反して重くなってしまう方法があること、うまく棒を使うと軽々と持ち上げられる方法があることなどを学びました。次回は、このうまくいった、棒を使った方法を全員で実験し、こういう道具をてこと呼ぶこと、てこには3つの点があること、使い方によっては力の大きさの変わり方が違うことなどを学習して行く予定です。最終的には、てこの原理に気付き、てこの日常生活での利用について学ぶことが目標です。

(文責 校内研究担当)

### 職員の窓

~職員からみた、いろいろな二小の子どもの様子、日々の取り組みなどをリレー形式で紹介していきます。

#### 「凡事徹底」

##### 「凡事徹底」

この言葉、聞いたことがあるでしょうか。

この言葉を辞書で引いても出てきません。実は、この言葉は、私の高校時代の恩師から教わった言葉なのです。恐らくは、その先生の造語だったのかもしれませんが。意味はというと、「凡事」というどんなささいな事も「徹底」してやるのが大成するチャンスを得るということだそうです。その先生は「マラソンで日本記録を出せるような人は、当たり前のことを当たり前に来る人なのです」と、よくおっしゃっていました。当たり前にできることが「凡事」であり、例えば、挨拶であったり、掃除であったり、部屋に入るときは靴をそろえて入る等のことです。こういったことを当たり前に来て初めて、大成するための切符を手に入れることが出来るということなのです。

私は、この言葉を聞いてから10年間いつも心の片隅にこの言葉を置いています。私自身もこの言葉をいつまでも忘れず、そして、子供達にも当たり前のことを当たり前に来るように教えていきたいです。

4年2組担任